

1. 会議の開催

- ① 一般社団・財団法人法第96条、第197条及び定款第41条の規定に基づき、決議の目的である事項について評議員および理事全員の書面又は電磁的記録による同意の意思表示、また監事については異議のない旨の意思表示があったため、当該議案承認の決議があったものとみなし、評議員会2回、理事会2回を実施した。

2. 機関誌の発行

- ① 年齢および習熟度に合わせた『不二一般版』・『不二中高版』・『不二小学上級版』・『不二小学初級版』・『ぺんの力』を毎月発行、研究誌『書学』を継続発行した。

- ② 『不二』各誌の更なる充実を図り、伝統書道の継承、発展に貢献した。

《令和4年度各誌発行部数》

『不二一般版』	79,820部
『不二中高版』	57,440部
『不二小学上級版』	96,600部
『不二小学初級版』	66,550部
『ぺんの力』	41,500部
『書学』	1,300部
年間発行部数	343,210部

- ③ 初級版・上級版・中高版の会員を対象とし、段級や展覧会スケジュール等の管理の為に役立つ「2023年度 不二書道手帳」を発行し、会員各位に贈呈した。

3. 月例競書審査会の実施

- ① 令和4年度も引き続き、感染防止対策を講じた上で、会員の段級認定を行うため、毎月1回実施した。
- ② 審査会は、審査員の密を避けるため、金曜日（初級版）、土曜日（中高版）、日曜日（一般版・ぺんの力）、月曜日（上級版）の4日間に分散し、会場を東京都千代田区にある書道学会本部とし、実施した。
- ③ 公正な段位および級位認定を行う審査実施のため、引き続き各地の優秀教場・教室長を地方審査員として迎え全国的な連帯を図った。
- ④ 会員より出品された優秀作品を誌上および本会ホームページにおいて発表した。

4. 会友試験の実施

① 『不二一般版』第66回会友試験を令和4年11月に実施した。

・総受験者数	3名
・合格者	1名
・合格者累計数	752名

② 『ペンの力』第55回会友試験を令和4年11月に実施した。

・総受験者数	2名
・合格者	1名
・合格者累計数	219名

5. 会員登録の実施

① 公認段級位制の確立の一環として『不二一般版』・『不二中高版』・『不二小学上級版』・『ペンの力』に於いてコンピュータによる段級管理を継続実施した。またインターネットによる段級位の発表を行い、国内・海外の会員等に対し学習のサポート体制の強化を図った。

② 会員に対するサービスの迅速化を図るため、書学院・通信教育の会員データを統合した会員システムの構築を行った。

6. 表彰・段級認定の実施

① 令和4年度優秀教場・教室長表彰式を、令和5年4月3日（月）如水会館に於いて3年ぶりに開催し、表彰状を授与した。

令和4年度の表彰対象者は教場長64名、教室長237名の併せて301名。内、新規優秀教場長4名および、新規優秀教室長7名の計11名には表彰状をおくり、新たに10の認定教場、教室に標札を発行し贈呈した。（標札辞退の教室1件）

② 各教場・教室長推薦の下、優秀教室会員表彰を行った。表彰者は学生、一般の計237名。その他、段級証明書1,000通、段級認定書85通を発行した。

7. 検定試験の実施

① 第62回全国書道検定試験

《師範試験》 受験者なしの為、実施せず。

《司教・助教》自宅試験（春）令和4年5月21日（土）～6月6日（月）

《司教・助教》自宅試験（秋）令和4年10月15日（土）～11月1日（火）

師範合格者	0名
司教合格者	9名
助教合格者	13名
合格者総数	22名
その他に書学院師範合格者	59名（書道）
これまでの師範取得者累計	16,772名

② 第42回全国ペン硬筆検定試験

《師範試験》 受験者なしの為、実施せず。

《司教・助教》自宅試験（春）令和4年5月22日（土）～6月7日（火）

《司教・助教》自宅試験（秋）令和4年10月16日（土）～11月2日（火）

師範合格者	0名
司教合格者	7名
助教合格者	5名
合格者総数	12名
その他に書学院師範合格者	9名（ペン）
これまでの師範取得者累計	1,342名

③ 第92回級位認定書道検定試験

自宅試験 令和4年5月21日（土）～6月6日（月）

・ 上級認定者	3名
・ 中級認定者	6名

④ 第93回級位認定書道検定試験

自宅試験 令和4年10月15日（土）～11月1日（火）

・ 上級認定者	3名
・ 初級認定者	1名

⑤ 第82回級位認定ペン硬筆検定試験

自宅試験 令和4年5月21日（土）～6月6日（月）

・ 上級認定者	2名
・ 中級認定者	1名
・ 初級者認定	1名

- ⑥ 第83回級位認定ペン硬筆検定試験
 自宅試験 令和4年10月15日(土)～11月1日(火)
 ・ 認定者 0名

8. 文部科学省認定社会通信教育の実施

- ① 文部科学省認定講座
 ・「書道基礎科講座」「書道専攻科講座」「ペン習字基礎講座」
 「ペン習字教育講座」「篆刻入門講座」の5講座を継続開講した。

- ② 併設講座
 ・「速習ペン字講座」「写経入門講座」の2講座を継続開講した。

- ③ 学習方法
 通信講座の受講者には、一括して教材を配布し、提出された課題の清書作品は講師の添削・講評を付して採点結果を返送。各講座の所定の課程を修了した者には、文部科学省認定本通信教育修了証を授与。

- ④ 年間受講者数
- | | |
|----------|------|
| 書道基礎科講座 | 118名 |
| 書道専攻科講座 | 39名 |
| ペン習字基礎講座 | 232名 |
| ペン習字教育講座 | 31名 |
| 篆刻入門講座 | 4名 |
| 速習ペン字講座 | 11名 |
| 写経入門講座 | 7名 |
| 合計 | 442名 |

- ⑤ 受講修了者表彰
 ・講座受講修了者の中で、成績優秀者を対象に文部科学大臣賞の授与を行う予定だったが、受賞者は選考されたものの、授賞式は新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。
 ＊文部科学大臣賞受賞者 4名

- ⑥ 生涯学習インストラクター
 ・生涯学習1級インストラクター4名、2級インストラクター10名を社会通信教育協会の人材バンクに登録。現在まで1級延べ296名、2級延べ623名。

9. 指導者育成事業

- ① 新型コロナウイルス感染防止のため休講としていた神田書学院は、令和3年4月より、感染防止対策を講じた上で受講を再開した。実験的にリモート授業を行い、地方から2名が定期的に参加した。

I期受講生数 324名 II期受講生数 330名 III期受講生数 344名
受講生合計 998名

- ② 新型コロナウイルス感染防止のため休講としていた川奈書学院は引き続き休講とした。

- ③ 夏季講座・冬季講座の開講

夏季講座を令和4年8月4日(木)より令和4年9月6日(火)まで実施した。
参加受講生は116名となった。

冬季講座を令和4年11月15日(火)より令和5年2月5日(日)まで実施した。参加受講生は102名となった。

- ④ 書学院卒業式を令和5年4月29日(土)神田書学院に於いて挙行了た。

卒業作品を展示する第46回書作展を開催。会場展示だけでなく、360度カメラを使ったWeb展も開催した。

※第46回 書作展 令和5年4月28日(金)～4月30日(日)の3日間
会場：神田書学院

令和4年度卒業生67名 うち師範取得者66名

10. 公募展の開催

(ア) 第44回全国公募千字文大会 (共催 日本書道藝術専門学校)

令和4年9月24日から令和4年9月26日の会期で日本書道藝術専門学校ならびに東洋文化不二研修所にて展覧会を開催した。3年ぶりに作品の展示を行い、表彰式も特別賞受賞者のみを対象に実施した。

特別賞受賞作品をホームページならびに本会発行の「不二一般版」・「ぺんの力」・「不二中高版」・「不二上級版」「不二初級版」に掲載し、作品を広くご鑑賞いただいた。

- ① 会場 日本書道藝術専門学校・東洋文化不二研修所
- ② 会期 令和4年9月24日(土)～26日(月)
- ③ 表彰式 令和4年9月25日(日)
於日本書道藝術専門学校
- ④ 褒賞 文部科学大臣賞、静岡県知事賞、伊東市長賞他
- ⑤ 総出品点数 8,850点

【毛筆の部】6,422点

特別賞44点 特選937点 優秀1,271点
秀作2,196点 佳作1,974点

【硬筆の部】2,407点

特別賞25点 特選332点 優秀485点 秀作840点 佳作725点

【篆刻の部】21点

特別賞1点 特選3点 優秀4点 秀作6点 佳作7点

(イ) 書初不二誌上展の実施

- ① 審査会 令和5年1月22日(日)
- ② 特選作品および成績を『不二』3月号誌上、本会ホームページにて発表した。
- ③ 出品点数 5,928点
 - 【小学初級の部】 1,844点
特選 328点 金賞 412点 銀賞 552点 銅賞 552点
 - 【小学上級の部】 2,089点
特選 386点 金賞 448点 銀賞 628点 銅賞 627点
 - 【中学・高校の部】 845点
特選 150点 金賞 189点 銀賞 253点 銅賞 253点
 - 【一般の部】 991点
特選 180点 金賞 232点 銀賞 301点 銅賞 278点
 - 【ぺんの部】 159点
特選 34点 金賞 31点 銀賞 49点 銅賞 45点

(ウ) 第72回書道學會展

令和4年度は以下の通り開催した。

- ① 会 場 第一会場 東京都美術館 2階 第3・4展示室
第二会場 東京芸術劇場 5階 ギャラリー1
- ② 会 期 令和5年1月4日(水)～10日(火)
- ③ 授 賞 式 令和5年1月8日(日) 於東京都美術館講堂
- ④ 褒 賞 内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、中国大使賞、東京都知事賞他
- ⑤ 出品点数 585点(公募+役員)
- ⑥ 入場者数 2,818人

【第1会場】

公 募 出 品 数 228点
(第1部86点・第2部102点・第3部25点・第4部6点・第5部9点)
展 示 対 象 点 数 406点(公募210点+役員出品196点)

【第2会場】

公 募 出 品 数 161点
(第1部57点・第2部82点・第3部17点・第4部5点)
展 示 対 象 点 数 151点

本会発行の「不二一般版」・「書学」令和5年2月号に於いて役員、一般公募の優秀作品を特集し、また、ホームページで紹介した。

(エ) 第72回全日本学生書道展

- ① 会 場 東京都美術館 2階 第2・3展示室
- ② 会 期 令和5年1月4日(水)～10日(火)
- ③ 授 賞 式 令和5年1月8日(日) 於東京都美術館講堂
- ④ 褒 賞 文部科学大臣賞、中国大使館賞、東京都教育委員会賞他
- ⑤ 出品点数 2,733点
(内小学生1,475点+中高生1,258点)
- ⑥ 展示点数 2,393点
(内小学生1,301点+中高生1,092点)
- ⑦ 入場者数 3,667人
- ⑧ 本会発行の「不二中高版」・「不二上級版」・「不二初級版」令和5年2月号に於いて優秀作品を特集し、また、ホームページで紹介した。

(オ) 第36回不二現代書展

3月に予定していた不二現代書展は、大阪市立美術館の改修工事により中止となった。第36回不二現代書展は、兵庫県立美術館に会場を移し、令和5年7月4日(火)～9日(日)に開催する予定。

11. **二百万巻寫經推進事業**

① 写経塔・筆塚供養祭の開催

令和4年10月2日(日) 東洋文化不二研修所に於いて3年ぶりに開催した。

② 令和5年3月31日現在 納経巻数 1,541,816巻

12. **書道教育推進事業**

① 日本書道藝術専門学校校長の主導により推進されてきた「書道教育特区」は、その教育成果、実績が認められ、平成21年度より「書道科書道」の授業が全国展開されるに至った。本会でも全国展開を受けて、引き続き静岡県内小学校9校への講師の派遣支援を行った。

13. **新和様・漢字造型書作家協会の活動**

① 会報38号の発行

協会の各事業の報告と、第34回色紙展の出品作169点を収録し、会員に配布した。

② 第34回 新和様・漢字造型書作家協会 色紙展

令和4年9月2日(金)より4日(日)まで、神田書学院に於いて開催。

色紙作品169点を展示した。

③ 第28回 新和様・漢字造型書作家協会 選抜展

令和4年7月17日(日)より21日(木)まで、東京芸術劇場に於いて開催。

新和様作品または漢字造型作品90点を展示。

新和様・漢字造型書作家協会会員が日頃研究を行っている新和様書と漢字造型書への研究成果を発表した。

「書学」令和4年9月号において特集した。

14. **第13回「漢字造型」と「傳統の寫經」展**

① 会期 令和4年9月20日(火)～25日(日)

② 会場 東京鳩居堂画廊

③ 展示点数 39点(ほか学会の写経資料を展示)

15. 伊豆川奈東洋文化不二研修所

- ① 令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より全面閉鎖としていたが、令和4年度より場面を限定して供用を再開し、第44回全国公募千字文大会の小学部特選作品の展示、供養祭などに利用した。

16. 講習会・書道展の後援協力

- ① 全国の書道展・講習会に後援協力した。本年度後援件数 11件